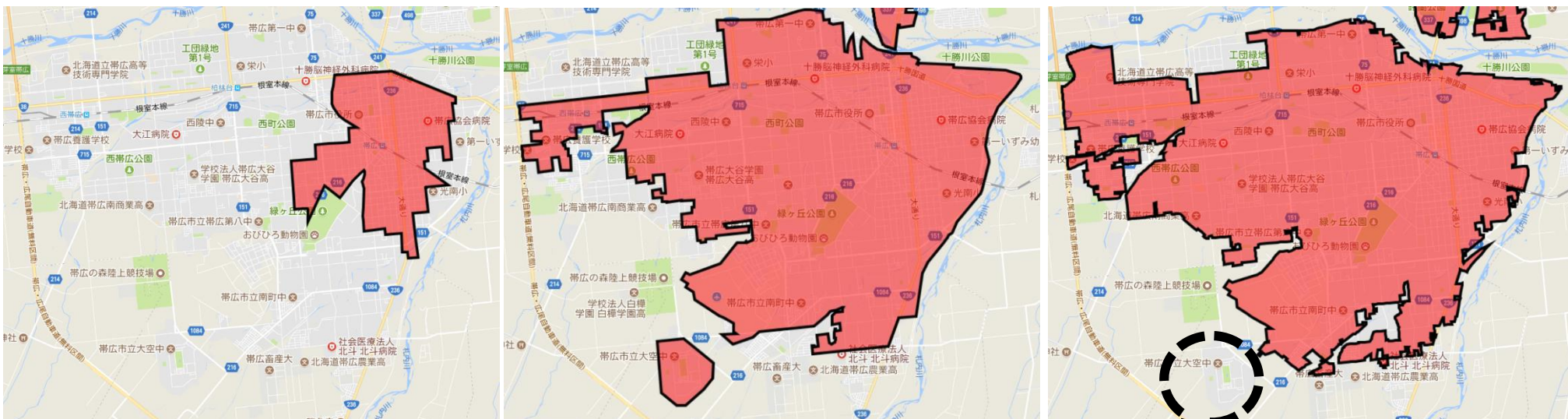


帯広市の都市形成

4. 人口集中地区の推移



昭和35年

平成2年

平成22年

人口集中地区

人口が一定程度密集するなど都市的特質を有している地区

国勢調査における統計データから、人口密度が1平方キロメートルあたり4,000人以上の基本単位区が互いに隣接して人口が5,000人以上となる地区を指す。

人口集中地区に基づいた集計は、人口等の都市集中の実態を把握する場合や、市街地の形成の度合を示す基準として利用する場合などに行われており、都市計画、地域開発計画、交通計画、防犯・防災対策などで幅広く利用されている。

人口密度が低下した地区についても、行政サービスは継続的に提供